

平成25年山武市教育委員会第3回定例会会議録

1. 期 日 平成25年3月22日(金)
2. 場 所 山武市教育委員会庁舎会議室
3. 開 会 午後1時28分
4. 出席委員 委員長 五木田 孝義
委員長職務代理者 高橋 尚子
委 員 京相 光徳
委 員 小野崎 一男
委 員 嘉瀬 尚男
教育長 金田 重興

5. 議場に出席した職員の職及び氏名

教育部長	加瀬 芳美
教育総務課長	渡邊 聰
学校教育課長	宮川 欣也
学校教育課指導室長	鵜澤 政仁
生涯学習課長	篠崎 君子
スポーツ振興課長	川島 勝喜
公民館長	市原 修
文化会館長	江澤 正
図書館長	小野 稔
さんぶの森公園管理事務所長	齊藤 榮一
事務局	
教育総務課総務企画係長	秋葉 一徳
教育総務課総務企画係	篠原 正洋

6. 傍 聴 者 1人

開会 委員長が挨拶し午後1時28分開会を宣する。
傍聴人は1名であることを報告。

〔傍聴人入室〕

委員長：傍聴人に申し上げます。山武市教育委員会会議傍聴規則の各条項を十分遵守して傍聴いただきたい。

日程第1 ○会議録署名人の指名

五木田委員長が議長となり、京相委員を指名する。

日程第2 ○会議録の承認

第2回定例教育委員会の会議録を全員異議なく承認。

日程第3 ○教育長報告

報告書に基づき、2月21日から3月22日までの主な業務内容について報告。(主な点は次のとおり)

2月21日 市議会が開会した。平成25年度の当初予算、議案の提案があった。

26～27日 一般質問が行われた。教育関係では、教育施設の有効利用、体罰、こども園、学校再編、こども110番、食物アレルギー、誕生学、こども議会、学校の校庭芝生化等についての質問があった。

27日 山武市地区の教育長、教育委員研修ということで、県教委から金子教職員課長を招いて勉強会が開かれ、その後情報交換会が行われた。

28日 山武市教育振興基本計画の改訂に伴う知見の活用ということで、有識者3名(長谷川氏、小山氏、小西氏)から意見をいただいた。

3月 2日 千葉学芸高校の卒業式に出席した。当該校は、県内20の市区町から在校生が通っている。今年度の卒業生は125名だったが、その内山武市からは15名ということで、東金市に次いで2番目に多く子どもたちがお世話になった。

3日 市中学校サッカー大会が開催された。

4日 文教厚生常任委員会が行われた。

5日 文化会館運営委員会が行われた。

7日 予算審査特別委員会が行われた。

同日、東金高校の卒業式に出席した。山武市からの卒業生が何人かは把握していないが、東金高校が男女共学になって久しい訳だが、在校生の男女比率がほぼ半々となっている。今後、松尾高校がどうなるのかなと関心を持っているところである。

9日 山武合同講演会が開催された。今回の講師は、小惑星イトカワへ探査機はやぶさを飛ばして地球に帰還をさせた、川口淳一郎氏を迎えて講演をいただいた。川口氏の訴えたいことを要約すると、やれない理由を探してやらないのではなく、やる理由を探してやるべきということだった。全ての人がこういう風に前向きになれるといいなと感じたところである。

10日 市の芸文協まつりが開催された。今までで一番盛会であったと捉えている。これは芸文協の組織の一体化が進んでいるという風に受けとめている。

- 12日 山武南中卒業式に出席した。
同日、校長目標申告期末面談を行った。
- 13日 まつおこども園の卒園式に出席した。各委員には後ほど小学校、中学校の卒業式の感想をお聞きするが、私がまつおこども園で感じたことは、非常にまつおこども園の園児は個人差が大きく、特異な髪形の子どもが3人いた。苗半作の必要性を改めて感じたところである。
同日、給食運営委員会が行われた。協議の内容は、給食の充実を図る必要があり、それに伴って給食費の値上げの検討をする必要がある。そういうことに先立ってアンケートの実施も必要である。地産地消は更に前向きに取り組むことが必要であるというような方向性がだされた。また、同委員会に委員として出席した学校薬剤師の方から、市内の学校4校について照度が不足している、これは是非改善して欲しいという指摘をいただいた。
- 14日 成東幼稚園の卒園式に出席した。前日(まつおこども園)との大きな差が感じられた。この差は何なのかと考えさせられたところである。
- 15日 山武市学校のあり方検討委員会の視察研修に事務局として同行した。視察先は山武市と同じように近年合併して、規模や財政力が山武市とほぼ同様の市である。大変参考になった。これについては後ほど報告事項で報告する。
- 18日 10校の小学校長の目標申告をもって全ての校長目標申告が終了した。それぞれ差があるなと思った。もう少し分かりやすい書き方、説明の仕方というのを期待したいなというような個人としての思いを抱かされた。
同日、これは持ち回り決裁になったが、山武教育会館の理事会で9名の理事が新たに決まる予定となった。
- 19日 成東小学校の卒業式に出席した。卒業生の椅子の下には、市で配布した防災頭巾が用意されていたのが大変特徴的であった。
同日、校長会が行われ12項目について連絡と報告をした。
- 21日 市議会が閉会し、その後議会全員協議会が行われた。上程された全議案は承認された。新年度予算については、市全体の予算202億7千700万円の内、教育費は24億8千141万9千円ということで、市の予算が4億7千100万円減少している中で、教育費は6.5%増となっているが、パソコン等の入れ替えが要因である。全員協議会では、さんむ医療センターの評価委員会からの報告と中期目標が示された。順調に推移しているようである。同日ではなかったが、議会の質疑の中で市長がこんなことを述べていたので紹介する。これは医療センターの老朽化に伴う建て替え等も含めたことだが、市長の言葉として“明確な方向性を出していかなければならない時期と認識をしている”という風に述べている。それから同委員会では、成東駅南側整備の進捗状況が報告された。

22日 人事異動の確定版が各校長に配られた。私の感想としては70点位かなというように評価しているが、何校かはマイナスにさせてしまったかな、申し訳ないなどという思いがあり反省している。新しい体制で頑張っって欲しいということでお願をしたところである。各委員からも新年度の教育行政についてご指導いただきたく願います。

委員長：議案第8号「学校医、学校歯科医(幼稚園)及び学校薬剤師(幼稚園)の委嘱について」、議案第9号「山武市スポーツ推進委員の委嘱について」、協議第1号「準要保護の認定について」及び報告第3号「平成24年度末幼稚園定数配置について」は公開に適さない事項であることから、教育委員会会議規則第12条の規定により秘密会としたい旨、提案。

(「異議なし」の声)

日程第4 ○議決事項

議案第1号 山武市教育委員会の権限に属する事務の補助執行に関する規則の制定について

教育総務課長：この規則の制定については、前回の定例会で協議いただいたものである。地方自治法に基づき、幼稚園が幼保一元化に伴う市役所の窓口の一本化に伴い市長部局に事務を移すもの。それから公民館等について市民部蓮沼出張所に事務をお願いしていることから、それに伴い教育委員会で行われている事務を、市長部局に補助執行させるための規則を新たに制定するものである。(以下、資料に基づき規則の制定内容を説明。)

※原案のとおり可決。

議案第2号 山武市教育委員会組織規則の一部を改正する規則の制定について

教育総務課長：この規則の改正については、山武市行政組織図と教育委員会の組織体制に違いがあり、現行の組織体制に合った規則とするため所用の改正をするものである。(以下、資料に基づき規則の一部改正内容を説明。)

※原案のとおり可決。

議案第3号 山武市立幼稚園管理規則の一部を改正する規則の制定について

学校教育課長：この規則の改正については、こども園化に伴い、幼稚園の定員、幼稚園名、幼児数について、現在の実状に合わせて改正をするものである。これについて

ては、前回の定例会で協議いただいたことを基に作成している。

小野崎委員：前回の定例会で蓮沼幼稚園の廃止をするかどうかの話があったが、今回の規則には蓮沼幼稚園の記載があるがいいのか。

教育総務課長：議案第5号で補足の説明を考えていたが、私の方から回答させていただく。蓮沼幼稚園については、前回の定例会で廃園もやむを得ないというご意見をいただいたところであり、早速廃園の手続きとして今回の定例会で議案提出を考えていたが、最近になって状況に動きがあった。蓮沼保育園の園長、理事長ら総勢10数名が、おおひらこども園を視察したとのことで、蓮沼保育園の定員は90名、おおひらこども園の定員は120名で、そのまま津波対策ということで、そっくりおおひらこども園に行くのは難しいが、建物を増築するなどの条件を整えば、蓮沼保育園がおおひらこども園を運営することも検討に入れて協議していきたいとの話が進みつつあるということを保健福祉部の子育て支援課から聞いている。それがどうなるかはまだわからないが、その動きがある程度見えてきた段階で、蓮沼幼稚園の廃園の手続きに入ってもいいだろうということで、今回は見合わせてたということである。

京相委員：確認だが蓮沼幼稚園は募集しないが、この規則には載せておくということか。

教育総務課長：そのとおりである。

※原案のとおり可決。

議案第4号 山武市教育委員会処務規程の一部を改正する訓令の制定について

教育総務課長：山武市教育委員会組織規則の改正に伴い、教育委員会の事務処理を規定した処務規程について、規則の改正に合わせて改正するものである。（以下、資料に基づき規程の一部改正内容を説明。）

※原案のとおり可決。

議案第5号 山武市蓮沼幼稚園幼児専用車使用規程の廃止について

学校教育課長：蓮沼幼稚園は現在休園中であり園バスの運行はしていない。この園バスの運行管理については、蓮沼幼稚園で運行していた車両も含めて、業務委託をしているところであるが、蓮沼幼稚園については使用していないことから、使用規程を廃止するものである。

※原案のとおり可決。

議案第6号 山武市要保護及び準要保護児童生徒認定要領の一部改正について

学校教育課長：この要領の一部改正については、前回の定例会において協議いただいたものであり、文言の修正と認定基準の均衡を図るために所用の改正をするものである。（以下、資料に基づき要領の一部改正内容を説明。）

※原案のとおり可決。

議案第7号 山武市教育振興基本計画について

教育総務課長：前回の定例会で協議いただいた素案をもとに、2月28日に有識者会議を開催し、その会議での意見を反映した改訂案を今回提案するものである。（修正箇所について、資料に基づき説明。）公表の時期については、市の総合計画後期基本計画の公表に合わせ、4月に市のホームページに掲載する予定である。

嘉瀬委員：前回の意見が反映されているのでいいと思うが、成果指標の「めざそう値」とはどういう風に設定されているのか。

教育総務課長：市の総合計画後期基本計画が平成29年度までであり、その最終年度までには達成したいという目標を設定した値となっている。

※原案のとおり可決。

委員長：これからの審議は秘密会(非公開)とする旨の発言があり、山武市教育委員会会議傍聴規則第5条の規定に基づき、傍聴人の退席を求めた。

[傍聴人退室]

議案第8号 学校医、学校歯科医(幼稚園)及び学校薬剤師(幼稚園)の委嘱について

学校教育課長：毎回2年ごとに委嘱しているところだが、今年度は来年度から幼稚園がこども園になることから一年間の委嘱であった。したがって改めて小学校、中学校、こども園の短児部について、学校医等の委嘱をするものである。委嘱する方については、今年度と変わっていない。

小野崎委員：こども園については短児部だけとのことだが、長児部は別に委嘱するのか。

学校教育課長：長児部も同じ方ではあるが、教育委員会としては短児部として委嘱を認定いただくものである。委嘱状については、こども園の場合は市長名で委嘱することになっている。

京相委員：学校医の任期は2年、学校歯科医と学校薬剤師の任期は1年なのか。

学校教育課長：任期については全て2年である。しかしながら、平成24年度についてはこども園になるということから、1年限りの委嘱であったため、もう1年委嘱をするということである。

京相委員：そうすると平成25年度が終わった段階で、学校歯科医と学校薬剤師は2年の委嘱となるということか。

学校教育課長：そのとおりである。

※原案のとおり可決。

議案第9号 山武市スポーツ推進委員の委嘱について

スポーツ振興課長：このことについては、スポーツ基本法第32条の規定により、スポーツの推進に係る体制の整備を図るため、社会的信望がありスポーツに関する深い関心と理解を有する者の中から、教育委員会が委嘱することとなっている。この規定に基づき3名を新たに推薦するものである。(以下、委嘱する3名の経歴等について説明。)この度の委嘱は定数30名以内に対して、現在19名であり委員を補充するものである。委嘱の期間は、残任期間の平成25年4月1日から平成26年3月31日である。

五木田委員長：これでスポーツ推進委員は全員で何名か。

スポーツ振興課長：3名加わって22名である。

五木田委員長：この3名は予め地区を意識した人選なのか。

スポーツ振興課長：各地域から最低でも今年度1名ずつ推薦いただきたいと話を進めてきた。山武地区において公募により1名出てきたが、間際になって本人から辞退したい旨の連絡があったため、3名となったという経緯がある。今後も補充については、ふさわしい方がいれば委嘱したいと考えている。

小野崎委員：委員が増えたことに一安心した。ありがたいことで良かったと思う。

※原案のとおり可決。

日程第5 ○協議事項

協議第1号 準要保護の認定について

学校教育課長：新規申請分(2世帯4名)について説明の後、継続申請分(186世帯296名)について説明。継続申請は昨年度の同時期で178世帯281名であったので、若干増加の傾向にある。未提出・書類不足については次回定例会で協議いただきたい旨を報告。(未提出14世帯21名、書類不足1世帯2名)

京相委員：各学校別に準要保護の認定を受けている家庭の割合を把握しているか。

学校教育課長：担当者は把握していると思うが、格差があると聞いている。

京相委員：各学校の状況を把握しておきたいので、資料として出せるようであればお願いしたい。

学校教育課長：次回の定例会で小学校区ごとの状況をお示ししたい。

※新規2世帯4名及び継続166世帯268名について認定。

(非該当1世帯1名、辞退2世帯2名、転出2世帯2名)

委員長：ここまでで秘密会(非公開)を解く発言があり傍聴人の入室を求めた。

[傍聴人入室]

休憩 14時25分から

14時35分まで

協議第2号 山武市教育委員会会議日程について

教育総務課長：今年度については原則として第3木曜日であった。平成25年度について原則として第3水曜日か木曜日か協議願いたい。もう一点は、第4回定例教育委員会の開催日程について協議願いたい。来月は、申請を受け付けている奨学資金貸付者に対する選考を兼ねている。通常は午後開催であるが、午前10時から開催させていただければと考えている。

五木田委員長：平成25年度の開催日程について、今までは水曜日で今年度は木曜日であったがどうか。

嘉瀬委員：7月から1年間ロータリークラブの会長を担うこととなった。例会日が毎週木曜日である。できれば水曜日にしていただきたい。

五木田委員長：第3水曜日でもいいか。事務局はどうか。

教育総務課長：どちらでも。

高橋委員：学校訪問に影響はないか。

学校教育課長：木曜日であると山武教育研究会の集会在企画されている。本年度も2回調整をした経緯がある。木曜日以外の方がゆとりがある。

五木田委員長：第3水曜日でいかがか。

(賛成の声あり)

京相委員：4月はどうなるのか。

教育総務課長：予定では17日であるが、18日に変更していただきたい。また、4月は午

前10時から開催させていただきたい。

京相委員：午後は無いということか。

教育総務課長：午後も開催する。午前中に奨学資金の貸付け判定を行い、午後は通常通り定例会を行う。

五木田委員長：4月は18日で、5月から第3水曜日ということで了承いただきたい。

※原案のとおり了承。

日程第6 ○報告事項

報告第1号 平成25年山武市議会第1回定例会について

教育部長：2月26日・27日の一般質問(教育関係のみ)における答弁要旨、3月4日の文教厚生常任委員会、3月7日の予算審査特別委員会、3月14日の文教厚生常任委員会の会議要旨を、資料に基づき説明。

報告第2号 山武市学校のあり方検討委員会視察研修報告について

学校教育課長：3月15日に茨城県小美玉市教育委員会を視察した。出席者は委員7名事務局5名の計12名であった。山武市と非常によく似た財政規模、人口規模、学校数であった。小美玉市は平成22年に学校規模適正化検討委員会を立ち上げ、平成23年5月にはアンケート調査を行い、その結果に基づいて基本方針の概要版のパンフレットを作り、全世帯に配布して住民説明会を行ったところである。山武市と同様に平成26年3月に最終答申をすることで進んでいるが、平成24年2月に中間答申を既に出している。教育委員会から諮問した内容は“小中学校の規模及び適正化に関する基本的な考え方について”と“小中学校の適正配置の具体的な方策について”の二点を諮問し、これについて答申をしていくことで進めている。山武市より少し先に行っている団体であったので、住民説明会等のいろんな話が聞ければと思い視察に行ってきたところである。(以下、資料に基づき視察研修の概要について報告。)

小野崎委員：小美玉市はこれから答申を出すということか。

教育総務課長：平成26年3月に最終答申となるが、平成24年2月に中間答申を出している。

教育長：基本方針が出されて、今後具体的なことについて協議が進む訳だが、本市の検討委員会へは私から諮問をお願いする時に、よそは基本方針だけの答申が多いが、出来るだけ具体案を持って答申をお願いしたいと言ってあるので、どういう風になるかなと思っている。小美玉市では、検討委員が自分の地域のことと公の立場で悩んでいたとあったが、私は帰りのバスの中で、山武市の検討委員さん方は是

非そういうことではなく、大局的に判断を下してくださいとお願いしてきた。おそらく小美玉市は非常に丁寧に住民主体でやっている。住民主体は大事だと思うがあまりにも丁寧過ぎて、住民に振り回されてしまうのではと、よそのことながら懸念している。もしかすると山武市の方が早くゴールにたどり着く可能性は高いなという印象を持っている。

五木田委員長：なぜ視察先に茨城県小美玉市を選んだのか。

教育総務課長：インターネットで検索した結果、人口や財政規模がほぼ同じで、学校数もそう変わりがないということで選定した。

教育長：先程、検討委員会へ具体的な答申をお願いしてあると申したが、答申を受けて教育委員会として原案を作らなければならない。そしてそれを各地域、学校、市民に示して、パブリックコメントを経てというような順番でやろうと思っている。最終原案をここで各委員に作っていただくことになると思うので、今後の検討委員会の経緯はその都度お知らせしたいと思うが、それに従って意見を固めておいて提案いただければと思っている。

小野崎委員：最近新聞で南房総市の話と市原市の加茂地区の統廃合の話が出ていたので、資料があった方がいいかなと思う。南房総市と市原市ではニュアンスが違うが、市原市は一貫校、南房総市はこども園化も含めた形で動いている。

教育長：小美玉市の視察の際に、別室で市長、教育長と話をさせていただいた。そこでの話では、小美玉市の近隣でも統廃合を手掛けているところがあるようで、非常に簡単に行っている所と悩んでいる所。また、トップダウンである程度強引に進めてしまっている所、それでもうまくいっている所、それぞれに事情が違うので、参考にしながらも、山武市は山武市として独自ということでやっていかざるを得ない、やっていくべきだと思う。

委員長：これからの報告は秘密会(非公開)とする旨の発言があり、山武市教育委員会会議傍聴規則第5条の規定に基づき、傍聴人の退席を求めた。

[傍聴人退室]

報告第3号 平成24年度末幼稚園定数配置について

学校教育課指導室長：来年度からこども園が5つ、幼稚園が2つということで、全部で7つの子どもたちを受け入れる施設になる。その関係から全ての施設の職員配置が見られるように資料を提示させていただいた。(以下、資料を基に報告。)

京相委員：質問ではなく要望になるが、日向幼稚園の卒園式に出席した。その際、市議会議員から、3歳児保育が始まって職員はどのくらい増えるのかということで、

2名程増えると言うと、2名では足りないのではという話があった。確かに27名に対して2名の職員では、かなりきついと私も思うので、今後検討をしていく必要があると思うのでよろしく願います。

学校教育課指導室長：当初は副担任として、週29時間毎日6時間位の勤務をする職員を考えていたが、それでは少し大変だろうということで40時間のフルタイムにした。それから他のこども園の状況を見ると、長児部と短児部がセットになって一つのクラスが出来上がる。3歳、4歳、5歳、長児部と短児部が同一カリキュラムなので同じクラスになるが、その一つのクラスの定員というか、今年の募集状況からすると27名程度である。そこに長児部の先生が一人、短児部の先生が一人なので二人の先生が見ることになる。これについては、3歳児においても現時点ではそのような配当になっている。ただ、こども園については、午前7時から午後7時までなので、その部分の臨時職員が就いているが、その臨時職員が昼間も常に就いていないと認識しているので、いまのところ30人に2名という原則というところは、すぐに改善するのは難しいと思っている。ただ、子育て支援課は既に3歳児の保育を実施していることから、運用していく上でこれからよく協議をして、必要ならばそれなりの手当てをしていきたいと考えている。

委員長：ここまでで秘密会(非公開)を解く発言があり傍聴人の入室を求めた。

[傍聴人の入室なし]

報告第4号 さんむスポーツフェスタ2013結果について

スポーツ振興課長：3月3日にさんむスポーツフェスタ2013を開催した。種目は7種目実施し、ソフトバレーボールについては、ブロンズの部で13チーム、ゴールドの部で12チーム、中学生の部で8チームが参加した。ブロンズの部は蓮沼が優勝、ゴールドの部は日向が優勝、中学生の部は蓮沼が優勝した。グラウンドゴルフについては、13チーム参加し総勢77名であった。優勝は睦岡グラウンドゴルフチームであった。ウォーキング教室は18名の参加があった。昨年に引き続き神奈川県横須賀市在住の歯学博士の田所先生を講師に迎え、講義と実践を行った。弓道体験については、山武市弓道部の指導者12名の方々に、未経験者の参加者12名の指導をいただいた。健康・元気サポートフェアについては、JB日本接骨師会より柔道整復師4名を迎え、骨密度測定や柔整治療体験、健康体操などの指導を行い38名が参加した。技術講習会については、ソフトテニス教室を開催した。松尾高校のソフトテニス部顧問の諏訪先生、青澤先生の二人を迎え技術指導を行っていただいた。市からは55名の中学生が参加した。柔道教室については、山武成柔会から5名の講師を迎え技術講習を行い、市内小中学生26名が参加した。フェア全体で

382名の方々に参加していただき終了した。

報告第5号 行事の共催・後援の承認について

教育総務課長：平成25年2月1日から2月28日までに承認した4件の後援について報告。

報告第6号 4月の行事予定について

教育総務課長：教育総務課の4月の行事予定について報告。

学校教育課長：学校教育課の4月の行事予定について報告。

生涯学習課長：生涯学習課の4月の行事予定について報告。

スポーツ振興課長：スポーツ振興課の4月の行事予定について報告。

図書館長：図書館の4月の行事予定について報告。

文化会館長：文化会館の4月の行事予定について報告。

公民館長：公民館の4月の行事予定について報告。

その他

さんぶの森公園管理事務所長：当日配布資料に基づいて、職員手作りによるジョギングロードの報告を行った。

生涯学習課長：当日配布資料に基づいて、山武市教育振興基本計画の改訂に係る社会教育委員会議での委員からの意見を報告。文芸さんむの発刊、各社会教育団体の活動、家庭教育学級新聞の発行、文化施設、スポーツ施設の休館日について報告を行った。

嘉瀬委員：今プロジェクトとして進めている、次年度のパソコンの購入スケジュールについて、進捗状況をお聞かせいただきたい。

学校教育課指導室長：平成24年度については、先日、日向小、睦岡小に新しいシステムが機器と共に導入された。平成25年度については、当初の計画が各学校にあるコンピュータサーバーを市役所庁舎へ入れることと、パソコン教室のコンピュータの入れ替えをしようという、この大きな手立てを考えていたところだが、いろいろなシステムのことを考えてくる中で、いくつか大きな問題が出てきている。まず一つは市役所庁舎へのセンターサーバー化だが、コスト削減という意味でいろいろやっていくと、市役所庁舎へサーバーを設置するよりは、レンタルサーバーを使用した方がいいのではないかということも出てきた。それから現在進んでいるクラウドサービス、実際クラウドでソフトウェア的にもサービスが出来るものがあるのかどうか。そのサービスについても、プライベートのものとパブリックのものがあるなどということから、センターサーバー化について、大きな方向変換が今なされようとしているということ。それからコンピュータ教室のコ

ンピューターについては、OSのWindows8が過渡期にあることから、ハイブリット型のノートパソコンで校内全エリアでの活用ができるような無線LAN化をしていくということ。災害があった際に体育館が避難場所になるということもあり、体育館にも無線LANを設置し、災害時にはWi-Fi設定でスマートフォンなどからも繋がるようなものが、設定できればということで少しシステム的には広がっている。活用の面では、職員室に先生も方いる訳で、その先生方が使うソフトについても、全面的に見直しをして市統一のものを使っていくのがいいだろうということで進めている。子どもたちが使うソフトウェアについても、現在まで使っていたもの新たに使うもの、これらを更に検討しているということで、本年度の情報担当者会議では、あるソフトウェア、コンピュータシステム、デモンストレーションなども経て、一定の方向性を出し、来年度のものについては、4月以降の校長先生方を交えた情報担当者会議の中でやっていきたいと考えている。また、教育機器を導入したけれど内容が何も充実しないではいけないではないかということで、呼び方としてはIT支援員という名称で呼んでいるが、月二回程度、校務システム、授業システムそれらについての支援、アドバイスをするような人的サポートも視野に入れていこうということで話が進んでいる。当初の計画が機器の導入だけという形だったものが、今はその運用についてまで考えた方がいいという情報担当者会議での提案をいただいて、6月から7月までにシステムの内容を全て決定していきたいと考えている。そして、9月の議会に向けて予算措置のことを協議し、予算執行については12月以降になると思うが、来年早々には機器等の入れ替えも済ませていきたいという状況である。新しい情報担当者会議が発足したおりに、次回はシステムなどについて図などの資料を提示しながら報告させていただきたいと思う。

嘉瀬委員：当初はハードがかなり優れたものになるとのことで、今説明のあった支援システムというか、どう活用するかというところに力を割いて欲しいなと思っていたところだったので安心した。ありがたく思っている。

スポーツ振興課長：市民体育祭を毎年10月の第2日曜日に開催しているが、その翌日の体育の日を体育祭の予備日としている。準備会、代表者会議、反省会等々の中で、どうしても予備日は選手が集まらないことから、一日で出来ないかという要望が沢山ある。予備日を設けるか設けないかについて委員の方々の考えを伺いたい。

京相委員：体育の日の考え方だが、以前は10月10日で晴れの特異日ということだったが、月曜日の休みというのは、体育祭があって次の日ゆっくりしたいなど、選手として出る人たちは、特に勤めている人たちは感じるのではないかと思う。ですから予備日なしという考え方であってもいいのかなという気はする。

小野崎委員：せっかく準備してきたからやらせてあげたい。予備日は次の日ではなくて

一週間ずらすとかでやらせてあげたい。大平だけではなく鳴浜もそうだが、応援にも熱が入ってきたからやらせてあげたい。

五木田委員長：できるだけ現行通りに実施して、インターネットなどで天気予報をピンポイントで見ながらやるしかないかなという感じがする。

スポーツ振興課長：予備日として設けておいた方がよろしいということか。

高橋委員：私も体育協会に関わっていたが、やはり準備もあるしお弁当のこともあったりして大変だけど、せっかく選手を集めるのにも区長に協力していただいているので、できれば予備日を設けて一大イベントとしてやっていただきたい。私は体育祭の内容に問題があると思っていて、もう少し皆が参加できるものにして、競技性があまりにも強すぎて、支部対抗はいいと思うが、会場にいる人たちみんなで参加できるようなことも考えながらやっていったら、予備日があってもいいかなと思う。

学校教育課指導室長：山武市教育委員会ジャーナルについて説明。

高橋委員：山武市教育委員会ジャーナルに、水道と電気が止められた子どもの記事が載っているがその後どうなったのか。

学校教育課指導室長：子育て支援課などと検討しながら、それぞれのケースごとに対応している。

高橋委員：どうなったかというのは、準要保護や生活保護を受けるとかということまでいかなくて、現状維持なのか。

学校教育課長：家族構成が複雑ということで、まだそういうことを受けるという状況になっていない。

7. 閉会 午後4時03分